

## フエ市・高山市友好協力関係覚書締結式典挨拶

(2018年7月10日)

グエン・バン・タン・フエ市人民委員長

西倉 高山市副市長

ご列席の皆様

このたび日本列島を襲った豪雨により、高山市でも甚大な被害が出たと伺っております。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

高山市とフエ市の友好協力関係に関する覚書の締結に立ち会うことができ、大変光栄に思っております。両市の交流は、2年前から始まったと伺っておりますが、本日、ここフエにて覚書締結に至るまでの両市関係者の方々のご尽力に、心からの敬意を申し上げます。

また、今回は、高山市ご関係者のみならず、中部地方の経済界の多くの方々にベトナムを御訪問いただきました。心から歓迎を申し上げます。

今年2018年、日本とベトナムは、外交関係樹立45周年を迎えています。日越間の「絆」はこれまで以上に強くなっており、昨年は、天皇皇后両陛下の初のベトナム訪問、安倍総理とフック首相の相互訪問等たゆまない首脳レベルの交流がありました。また、先般、クアン国家主席ご夫妻が国賓として訪日されました。天皇皇后両陛下

はハノイをご訪問された後、ここフエを訪れられ、王宮、ファンボイチャウ記念館も訪問されました。私も当時代表団の一員として同行しており、両国間の交流の歴史を実感したことを覚えております。

両国間では、国民レベルの交流も急増しています。在日ベトナム人は、昨年 26 万人に達し、この内、技能実習生は 12 万 3 千人、留学生は約 7 万 2 千人となりました。それぞれ、この 6 年間で 9 倍、13 倍の増加です。日本からベトナムを訪れる人も年々増加しており、去年は、約 80 万人でした。

高山市におかれましては、現在 70 名のベトナム人を農業技能実習生として受け入れており、その中には、トゥアティエン＝フエ省の方もいらっしゃるとお伺いしております。また岐阜県全体でみても、ベトナムからの留学生や技能実習生は勿論のこと、岐阜県からベトナムに進出する企業も増加傾向にあるなど、ベトナムとの交流はより密になっています。

本日の高山市とフエ市の友好協力関係に関する覚書の締結が、高山市、岐阜県ひいては中部地方とフエ市、ベトナムの更なる関係強化につながることを確信致します。

最後に、皆様の御健勝、そして両市の関係が更に深まることを祈念しまして、御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（了）